

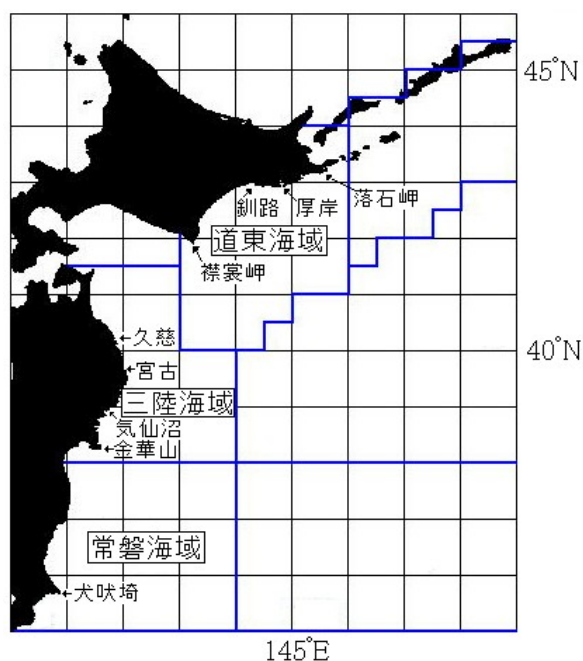
## 2026年度 第2回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2026年9月下旬～11月上旬)のポイント

#### 来遊量

- ・ 道東海域では、9月下旬～10月上旬は、断続的な来遊となる。10月中旬に来遊量は増加する。
- ・ 三陸海域では、10月下旬になると来遊がある。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部  
担当：渡邊、源  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<https://www.jafic.or.jp/information/category/gyokyo/>

## 2026年度 第2回サンマ中短期漁況予報

### 1. 今後の見通し

予測期間：2026年9月下旬から11月上旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

8月下旬の道東海域における来遊量は、前年を下回り、低位水準であった。また小型魚主体であった。

主漁場は、道東海域より東側の公海であったことから、1歳魚の魚群の多くは道東海域よりも沖合に分布している。

道東海域では、9月下旬～10月上旬は、小型魚主体ではあるが、断続的な来遊がある。10月中旬になると1歳魚の来遊量が増加し、10月中旬～下旬は、低位水準で増加する。11月上旬は、低位水準で減少する。

##### (2) 漁場

道東海域では、落石～襟裳岬沖に漁場が形成される。主漁場は、道東海域より東側の公海となる。

#### 2) 三陸海域

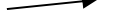
##### (1) 来遊量

9月下旬～10月中旬は、魚群の来遊は無い。10月下旬は、低位水準であるが、魚群が来遊する。11月上旬は、低位水準で増加する。

##### (2) 漁場

9月下旬～10月中旬は、漁場は形成されない。10月下旬～11月上旬は、三陸北部に漁場が形成される。

### 2. 予測の概要

| 海 域  |     | 9月下旬                                                                                | 10月上旬                                                                               | 10月中旬                                                                                | 10月下旬                                                                                 | 11月上旬                                                                                 |
|------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 道東海域 | 来遊量 |  |  |  |  |  |
|      | 動向  | 断続的                                                                                 | 断続的                                                                                 | 低位増加                                                                                 | 低位増加                                                                                  | 低位減少                                                                                  |
|      | 漁 場 | 落石～<br>襟裳岬沖                                                                         | 落石～<br>襟裳岬沖                                                                         | 落石～<br>襟裳岬沖                                                                          | 落石～<br>襟裳岬沖                                                                           | 落石～<br>襟裳岬沖                                                                           |
| 三陸海域 | 来遊量 |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      |  |  |
|      | 動向  |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      | 低位増加                                                                                  | 低位増加                                                                                  |
|      | 漁 場 |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      | 三陸北部                                                                                  | 三陸北部                                                                                  |

### 3. 漁況の経過概要（9月上旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

CPUE（1網あたりの漁獲量）から判断すると、道東海域における来遊量は、前年を下回り、低位水準であった。

主漁場は、道東海域より東北東～東南東側の公海であった。大型船で1日1隻あたり最高で36トン程度であり、8月下旬よりやや増加したものの前年より少なかった。またCPUEは前年を下回った。

##### (2) 漁場

道東海域では、落石沖～襟裳岬沖に断続的に漁場が形成された。小型船が十数隻操業し、数トン漁獲した。

主漁場は、道東海域より東北東～東南東側の公海であった。落石東北東530～570海里の漁場水温14～17℃では、大型船5～40隻程度と小型船十数隻操業し、大型船で最高で36トン、平均6.0トン漁獲した。落石東南東290～360海里の漁場水温14～18℃では、9月9日夜以降、大型船35～40隻程度と小型船十数隻操業し、大型船で最高で15トン、平均4.9トン漁獲した。

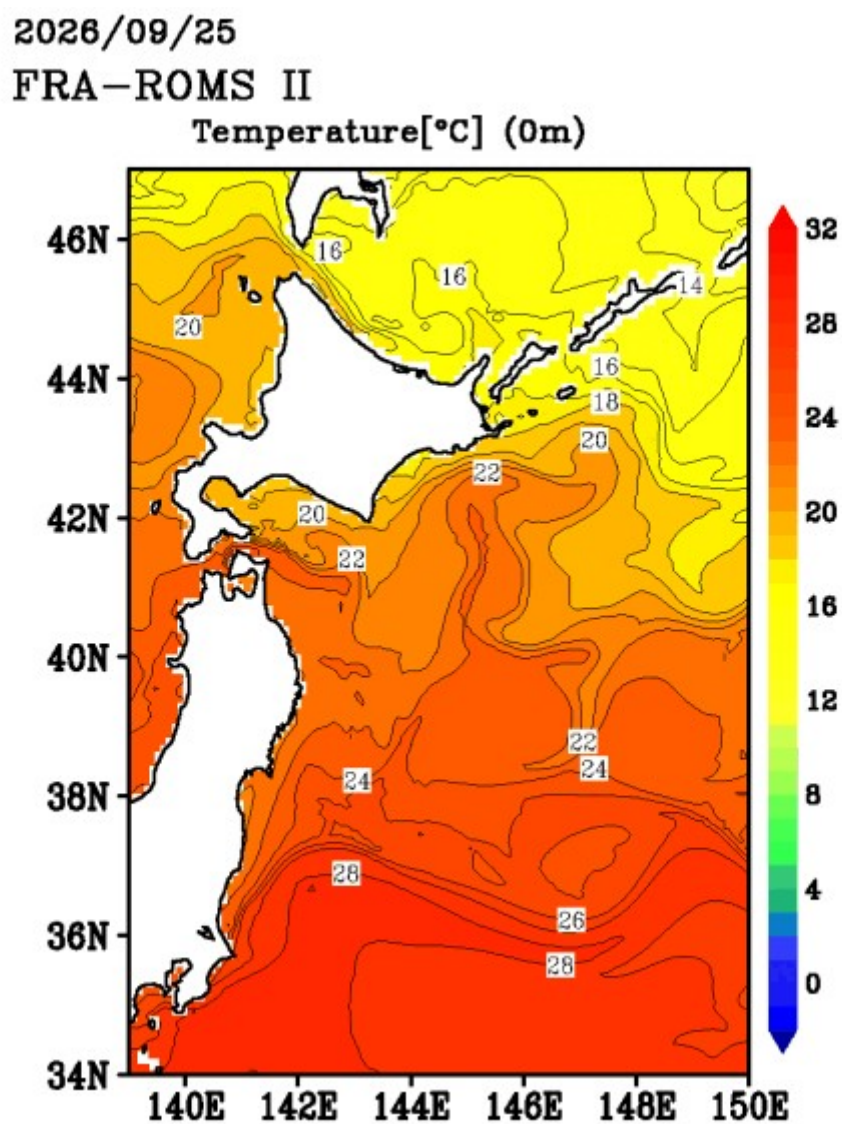
##### (3) 魚体

道東海域では、小型魚が主体であった。

道東海域よりも東北東～東南東側の公海では、体長27～32cmが主体、体重90～140g台が主体であった。前年より魚体は小さかった。

※常磐海域の予報については、第3回（9月29日発表予定）から行う。

#### 4. 予測水温分布図

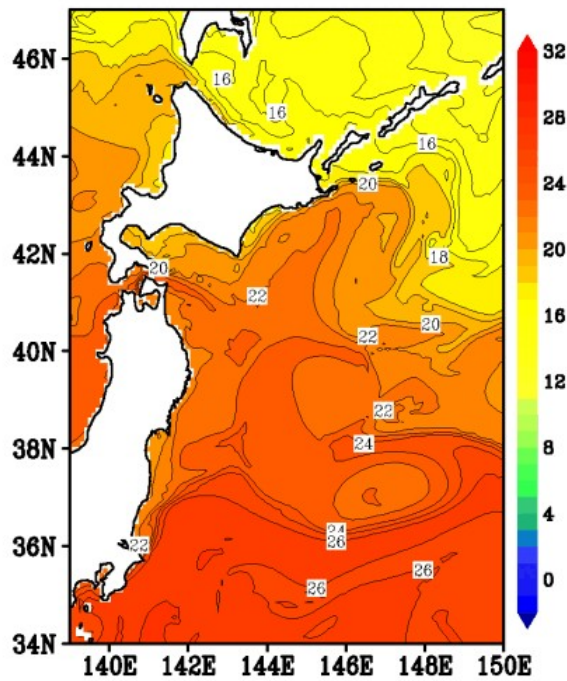


海況予測システムFRA-ROMS IIによる0m深予測水温（2026年9月25日）  
2026年9月16日にHPより取得した

2026/10/05

FRA-ROMS II

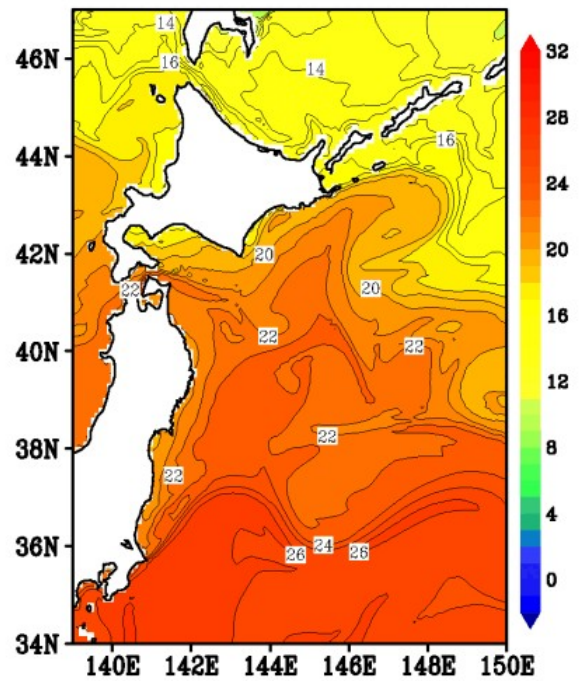
Temperature[°C] (0m)



2026/10/15

FRA-ROMS II

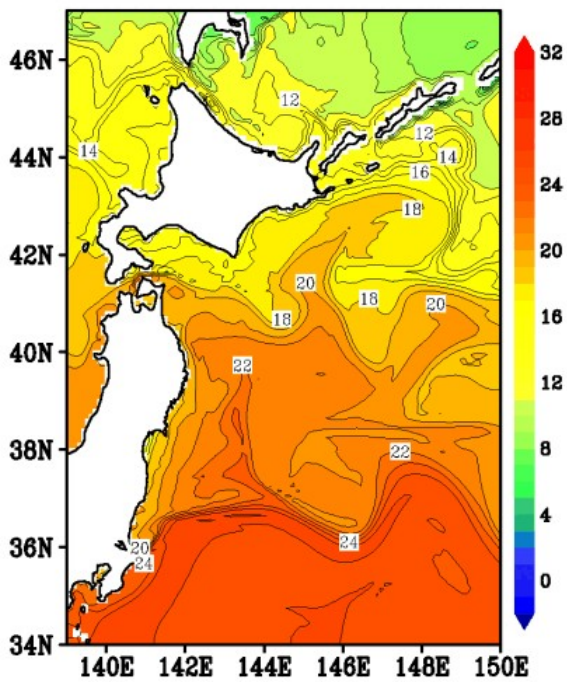
Temperature[°C] (0m)



2026/10/25

FRA-ROMS II

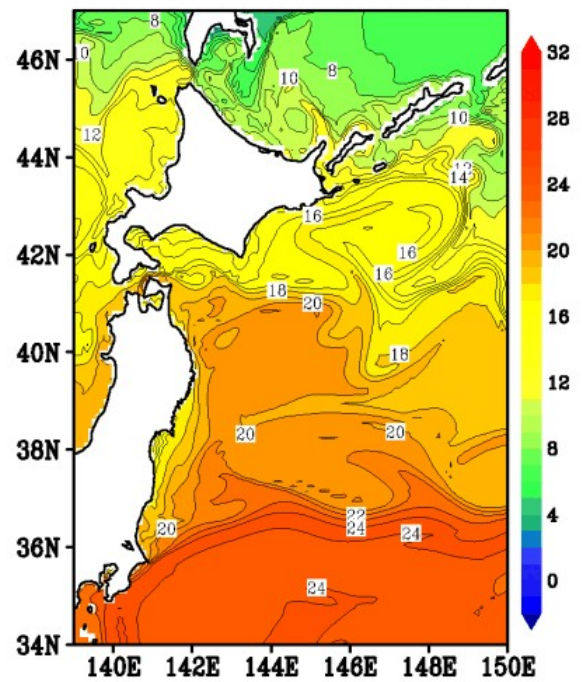
Temperature[°C] (0m)



2026/11/05

FRA-ROMS II

Temperature[°C] (0m)



海況予測システムFRA-ROMS IIによる0m深予測水温  
2026年10月5日(左上)、10月15日(右上)、10月25日(左下)、11月5日(右下)  
2026年9月16日にHPより取得した

## 参 画 機 関

|                                       |                                  |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構<br>水産研究本部 釧路水産試験場 | 茨城県水産試験場                         |
| 岩手県水産技術センター                           | 千葉県水産総合研究センター                    |
| 宮城県水産技術総合センター                         | 国立研究開発法人 水産研究・教育機構<br>水産資源研究所    |
| 福島県水産海洋研究センター                         | (取りまとめ機関)<br>一般社団法人 漁業情報サービスセンター |